

社団法人地盤工学会 平成 21 年度 第 1 回 理 事 会

議 事 録

日 時 : 平成 21 年 4 月 24 日 ( 金 ) 14 : 00 ~ 17 : 00		場 所 : 地盤工学会大会議室	
出席者 :			
浅岡 顕 会 長	後藤 聡 総務部長	坪田 邦治 理 事	川邊 敏弘 理 事
善 功 企 副 会 長 (兼災害担当兼調査研究部長)	土田 孝 企画部長	風間 基樹 理 事	江藤 芳武 理 事
	古関 潤一 国際部長	原田 健二 理 事	福井 次郎 監 事
末岡 徹 副 会 長 (兼会員・支部部長)	桑原 文夫 会誌部長	岩田 英二 理 事	三藤 正明 監 事 ×
	古屋 弘 事業部長	西本 聡 理 事	高橋 邦夫 〆ザ-バ-
西垣 誠 副 会 長 (兼総務担当)	北誥 昌樹 基準部長	内田 一徳 理 事	村上 章 〆ザ-バ-
	天野 玲子 理 事	小西 真治 理 事	
【事務局】戸塚事務局長, 浅野総務・経理課長, 鈴木一般事業課長, 下山刊行事業課長			

注) : 出席、 : 委任状、 : 未定

\* 定款 34 条に則り理事出席者 20 名 (うち委任状提出者 3 名) が定足数 (14 名、定員 20 名の 3 分の 2) を満足している事を確認し、理事会の成立が報告された。

\* 議事録署名者として、後藤 聡、天野玲子を選出した。

議 題 :

議 事 録 確 認

1. 理事会議事録 (案)(3/18)

[別紙 - 1] pp. 1-7

\* 議事録 p.3 基準部会 2. 「地盤材料試験の方法と解説」販売価格 : 「・・・2 分冊になったことなどが・・・」を「2 分冊を検討することなどが・・・」に訂正して、ほかは承認された。

審 議 事 項

総 務 部

1. 平成 20 年度事業報告 (案)(本部関係 + 支部関係のまえばん、本部関係の本文)

[別添資料 - 1] (差替 pp. 1-6 (当日配布))

\* 各分担箇所について確認して次回理事会にて最終審議する。

2. 平成 20 年度決算報告 (案)(本部関係)

[別添資料 - 2], [別添資料 - 6] (当日配布)

\* 現段階での H20 年度決算見込について、本部人件費の労働分配率による配賦、受託研究業務費の確定およびリース債務を考慮した補正結果での、一般会計 + 刊行会計での単年度収支差が、+660 万となる見込であることを報告し、承認された。残る課題として、消費税等の税金を考慮して最終決算とすることの報告を行い、承認された。

3. 平成 21 年度事業計画 (案)(本部関係 + 支部関係のまえばん・本文)

[別添資料 - 3] (差替 pp. 1-5 (当日配布))

\* 各分担箇所について確認して次回理事会にて最終審議する。

4. 公益法人化の件

[別添資料 - 4] (当日配布)

- 1) 定款変更案
- 2) 特定費用準備資金の使途
- 3) 基本財産として定める資産
- 4) 臨時総会での付議事項
- 5) 通常総会第 4 号議案

\* 風間理事、坪田理事が説明した。次回通常総会で公益法人への移行を提案する。

\*遊休財産の処理については、国及び関係学協会等の動向を見て、地盤工学会の方針を決めていく。

5. 平成 21 年度選挙管理委員会委員

〔別添資料 - 3〕

\*承認された。

6. 平成 21 年度表彰委員会構成案

〔別紙 - 24〕 p. 51 (当日配布)

\*承認された。

災害連絡会議

企 画 部

会 員 ・ 支 部 部

1. 新規入会希望者 (平成 21 年 4 月 1 日入会)

〔別紙 - 25〕 pp. 52-55 (当日配布)

\*会員状況が報告され、新規会員 55 名の入会が承認された。

\*会員数一覧表に「前年同月比」を入れるように要請があった。

国 際 部

会 誌 部

事 業 部

調 査 ・ 研 究 部

1. 60 周年記念 DVD の製作

〔別添資料 - 5〕 (当日配布)

1) 販売価格

・会員限定販売とし、会員特価 98,000 円としたい。

\*会員特価が承認され、会員限定販売であることが確認された。

2) 普及方策

\*販売用リーフレットが承認され、記念 DVD の販売促進を学会誌や HP、ショッピングカート等で図る。なお、「会員限定」というコピーを削除したらどうかという意見があった。

基 準 部

予備審議事項

総 務 部

1. 受託研究の取扱い

〔別紙 - 26〕 pp. 56-63 (当日配布)

\*後藤総務部長、風間理事が説明した。P56「受託研究受入の流れ」について各種意見があり、継続審議とした。各理事が支部・各部に持ち帰って検討する。

報 告 事 項

総 務 部

1. 経理関係報告 (平成 21 年 3 月末現在)

〔別紙 - 2〕 p. 8

\*前述の通り。

2. 法人設置届けに伴う法人税の申告と納付 (北海道、宮城県、札幌市、仙台市)

〔別紙 - 3〕 pp. 9-10

\*4 自治体の申告書について報告された。今後、他の自治体からも同様の動きが予測されることも報告された。

### 3. 広報関連報告

1) 無線 LAN の使用 [別紙 - 4] pp. 11-12

\* セキュリティの問題から会員外の利用は禁止し、会員は MAC パスワードを申告して利用する。

2) システム関連 (会員管理、ショッピングカート、行事管理) 保守委託業務契約 [別紙 - 5] pp. 13-20

\* システム運用の保守委託業務の契約が締結され、運用費用は会員・支部と事業部と広報委員会で負担する。

3) 地盤工学会賞のプレスリリース [別紙 - 6] pp. 21-23

\* 地盤工学会賞が平成 21 年 4 月 1 日に 20 社にプレスリリースされた。

4. 第 51 回通常総会時の役割分担 [別紙 - 7] p. 24

\* 第 51 回通常総会時の役割分担が報告された。

5. 支部長への総会案内 (通常総会対応の支部代表者総会出席依頼) [別紙 - 8] pp. 25-27

\* 各支部へ通常総会への代表者出席が依頼された。

6. 第 2 期代議員欠員に伴う選挙 (学会誌 6 月号) [別紙 - 9] pp. 28-30 (差替 p. 29 (当日配布))

\* 第 2 期代議員補欠候補者名簿が報告された。

7. 「地盤工学貢献賞」の次年度への引継ぎの件

\* 「地盤工学貢献賞」の検討が次年度表彰委員会へ引継がれる。

8. 正・副会長の所掌する部等

・ 浅岡会長：国際部、運営連絡会議座長、国際委員会委員長、公益法人化推進委員会委員長

・ 西垣副会長：企画部 (長)、事業部、会員・支部部、災害連絡会議座長、創立 60 周年記念事業委員会委員長

・ 高橋次期副会長：基準部 (長)、調査・研究部

・ 村上次期副会長：総務部、会誌部、表彰委員会委員長、選挙管理委員会委員長

9. 平成 21 年度総務部会構成 [別紙 - 10] p. 31

10. 平成 21 年度部員の公募結果 [別紙 - 11] pp. 32-34 (追加 pp. 34- , (当日配布))

\* 国際部会西村伸一氏、企画部会浅田素之氏・杉本映湖氏、会誌部会中澤重一氏の 4 名が紹介された。

11. その他

1) 会員の訃報

会員・功労章受章 山本哲朗氏 (山口大学教授) の逝去 (21.3.18 逝去)

・ 追悼文依頼者：松田 博氏 (山口大学教授)

名誉会員・功労章受章 伊勢田哲也氏 (長崎大学名誉教授) の逝去 (21.3.19 逝去)

・ 追悼文依頼者：棚橋由彦氏 (長崎大学教授)

名誉会員・功労章受章 榎並 昭氏 (日本大学名誉教授) の逝去 (21.4.2 逝去)

・ 追悼文依頼者：安達俊夫氏 (日本大学教授)

2) 鹿島学術振興財団 2008 年度研究助成の採択 [別紙 - 12] p. 35

3) 文部科学大臣賞若手技術者賞の決定 [別紙 - 13] pp. 36-37

4) 平成 21 年度理事会等の開催期日 [別紙 - 14] p. 38

5) 平成 21 年度公益法人実地検査の実施 (文部科学省調査) [別紙 - 15] p. 39

6) 共催、後援、協賛等の依頼

「ダイバーシティ推進フォーラム：建設分野における女性活躍支援ネットワーク」の共催 (後援から変更)

主催：土木学会男女共同参画小委員会 H21.5.12 開催

「第 1 回震災対策技術展 / 自然災害対策技術展：静岡」の協賛 主催：同実行委員会 H21.4.24-25

「特別シンポジウム：土壌汚染対策法の改正と今後の土壌汚染対策」の共催 主催：エコケミストリー研究会 H21.7.10

「第 11 回土木・建築図書特別展示即売会」の後援 主催：丸善 H21.5.1-6.30

7) HP、メールニュース等による会員への周知

「第 7 回新機械振興賞」の募集 (H21.5.18 締切) 機械振興協会よりの依頼

「東京大学生産技術研究所教員」の募集 (H21.5.29 締切) 同大学生産技術研究所よりの依頼

「独立行政法人土木研究所任期付研究員」の募集 (H21.5.8 締切) 土木研究所よりの依頼

8) 「岩の力学 08」への学会誌等の転載依頼 岩の力学連合会よりの依頼

災害連絡会議

1. イタリア・ラクイラ地震に関する合同調査団の設置

〔別紙 - 16〕 p. 40

\* 岐阜大学八嶋厚先生が地盤工学会からの調査団員という報告があった。

\* 5月1日(金)13時30分から土木学会で報告会を開催する。

企画部

1. 創立60周年記念関連事項

1) 創立60周年記念座談会「新公益法人を目指す地盤工学会」の中止の件

2) 記念式典の件

〔別紙 - 27〕 p. 64 (当日配布)

\* 祝辞を土木学会会長、国土交通省幹部、土工協会長にお願いする。

3) 創立60周年記念技術講演会(シンポジウム)の関東支部との共催の件

〔別紙 - 17〕 pp. 41-42

2. 委員会活動レビューシートと中長期ビジョン達成度評価に対する意見提出の件

〔別紙 - 28〕 pp. 65-86 (当日配布)

\* 企画部から意見提出依頼が出された。

会員・支部部

国際部

会誌部

1. 「地盤工学会誌」6月号の発行、目次

〔別紙 - 18〕 p. 43

・6月号: 5月25日納本予定、5月28日発送予定

2. 「Soils and Foundations」Vol.49, No.3の発行、目次

〔別紙 - 19〕 p. 44

・6月25日納本予定、6月27日発送予定

3. 21年度科研費補助金の交付内定(21.4.1付)

交付刊行物: 「Soils and Foundations」

交付予定額: 660万円(20年度:680万円, 19年度:660万円)

4. 「丸善」との販売代理店契約について

〔別紙 - 20〕 pp. 45-47

事業部

1. 2008年度キャンペーン開催報告

〔別紙 - 29〕 p. 87 (当日配布)

2. 廃棄書籍について

〔別紙 - 30〕 p. 88 (当日配布)

3. 新刊本の初版印刷部数、価格

1) 原位置岩盤試験値データベース2008年度版

会員価格 4,305円 定価 6,195円(いずれも税込み) 初版印刷部数 500部

4. 既刊本の増刷

1) 「入門シリーズ20.環境地盤工学入門」: 500部

2) 「君ならどうする」: 500部

3) 「FEMシリーズ3.弾塑性有限要素法をつかう」: 300部

5. 地盤工学・実務シリーズの原稿書式について

6. 平成20年度講習会開催・収支報告

講習会収支一覧表

2月, 3月

講習会名	会場	収入予算 (円)	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率(%)
	開催日		収入実績(円)		支出実績(円)		実績の収支差		
近接工事の調査・設計・施工	JGS会館	511,000	50	24	1	0	40	75	186

	2月13日		967,000	306,103	660,897				
建設・産業副産物の地盤工学的有効利用講習会	JGS会館	507,000	26	25	0	0	40	51	128
	3月6日		636,000	259,984	376,016				
土の弾塑性構成モデル講習会	JGS会館	388,000	47	9	2	0	40	58	145
	3月27日		591,000	416,890	174,110				
これまでの計(今年度)		19,182,000	19,457,000	10,541,037	8,915,963				

7. Web ラーニング納品およびコンテンツ公表

〔別紙 - 31〕 p. 89 (当日配布)

8. 平成 21 年度講習会企画(案)

〔別紙 - 32〕 pp. 90-100 (当日配布)

- 1) 「はじめて学ぶ FEM」講習会
- 2) 「地盤・耐震工学入門」講習会
- 3) 「地下水を知る」講習会
- 4) 「続・土壌・地下水汚染の調査・予測・対策」講習会
- 5) 「わかりやすい構造物基礎」講習会
- 6) 「地盤環境振動対策工法」講習会
- 7) 「土質・基礎に関する技術講習会-技術士受験のポイント-」講習会
- 8) 「第一回 実務者のための土と基礎の設計計算演習」講習会
- 9) 「基礎構造物の信頼性設計法」講習会
- 10) 「やさしい補強土」講習会
- 11) 「土砂災害ハザードマップ」講習会

9. オンデマンド講習会について

〔別紙 - 33〕 pp. 101-103 (当日配布)

10. 平成 21 年度講習会コース制について

〔別紙 - 34〕 pp. 104-107 (当日配布)

11. ショッピングカートの改善

〔別紙 - 35〕 p. 108 (当日配布)

12. 60 周年記念事業について

13. 平成 21 年度事業部関係委員会構成

〔別紙 - 36〕 pp. 109-111 (当日配布)

- 1) 事業部会
- 2) 出版企画委員会
- \* 人選中だった最後の委員も含めて報告された。
- 3) 技術普及委員会

#### 調査・研究部

1. 第 54 回地盤工学シンポジウム

〔別紙 - 37〕 pp. 112-113 (当日配布)

- 1) 論文投稿の個別依頼

#### 基準部

1. 委員会の異動

- 1) 委員会の構成

平成 21 年度「地盤工学表記法委員会」および関連 WG の構成

〔別紙 - 21〕 p. 48

新設 WG 「室内試験規格・基準委員会 岩石および岩盤不連続面の動的繰返し

強度・変形試験方法基準化検討 WG」

〔別紙 - 22〕 p. 49

- 2) 委員等の交代

ISO 国内委員会

室内試験規格・基準委員会

地盤調査規格・基準委員会

・森田 宏 委員(国土交通省大臣官房技術調査課) 別木 孝 氏(同省)

理由：異動のため

2. ISO海外派遣

[別紙 - 23] p. 50

ISO/TC 190 連絡会議への出席

ISO/TC 190/SC 3 連絡会議への出席

BSI (英国規格) ヒアリング会議への出席

期 間：2009年4月13日～4月18日(現地4日)

派遣者：坂井委員 (ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG リーダー)

理 由：添付資料参照

費 用：経済産業省

3. 地盤調査規格・基準委員会「WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正」でのアンケート調査の実施

・当年度の規格改正に合わせて、本試験方法の自動化もしくは半自動化の実態調査、把握のために、会員および「特定非営利活動法人 住宅地盤品質協会」会員へアンケートを実施することとした。

4. 新刊「打ち戻し施工によるサンドコンパクションパイル工法 設計・施工マニュアル」の販売価格

・会員特価 5000 円 (税込 5250 円), 定価 6500 円 (税込 6825 円)

5. 平成 21 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)	報告書の有無	(納期)	
・沿岸開発技術研究センター	×			
・土木学会	×			
・土木学会	検討中			
・日本規格協会(回答作成)	60万円			
・日本規格協会(重点TC旅費)	170万円			
・経済産業省	350万円			
計	580万円	: 上限, 予算は 620 万円		

そ の 他

議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名者が下記のとおり署名する。

平成 21 年 4 月 24 日

社団法人 地盤工学会

議 長 浅 岡 顕

議事録署名者 後 藤 聡

天 野 玲 子

この謄本は、正本と相違ありません。

平成 年 月 日

社団法人 地盤工学会

会 長 浅 岡 顕